

一緒に考えよう！未来の公共施設①

【はじめに】

市が保有する公共施設は、その半数以上が建築後30年以上経過し、近い将来、大規模な改修や建替えなどの検討が必要になります。その一方で、市の財政状況や今後の人口減少・少子高齢社会を考えると、今ある公共施設を全て建て替えることは難しい状況です。

そのため市では、公共施設の適正配置について、これまで段階的に取り組んできました。

平成28年度には、小中学校や集会施設などの「類型」ごとに、今後の適正配置に関する方針（基本的な考え方）を示す「筑西市公共施設適正配置のための基本方針」を策定しました。

平成29年度からは、順次、市民や利用団体の皆様に説明し、ご意見をいただく場を設けてまいります。

マンガで見る ～ちっくんの筑西市未来のハコものがたり～

未来は僕らが
変えられる！

職業体験で市役所を訪れた2人の高校生。「ちっくん」の不思議な力で20年後の筑西市を見ることになる。

明るい未来を想像していた2人は意外な施設の現状を目にすることに…



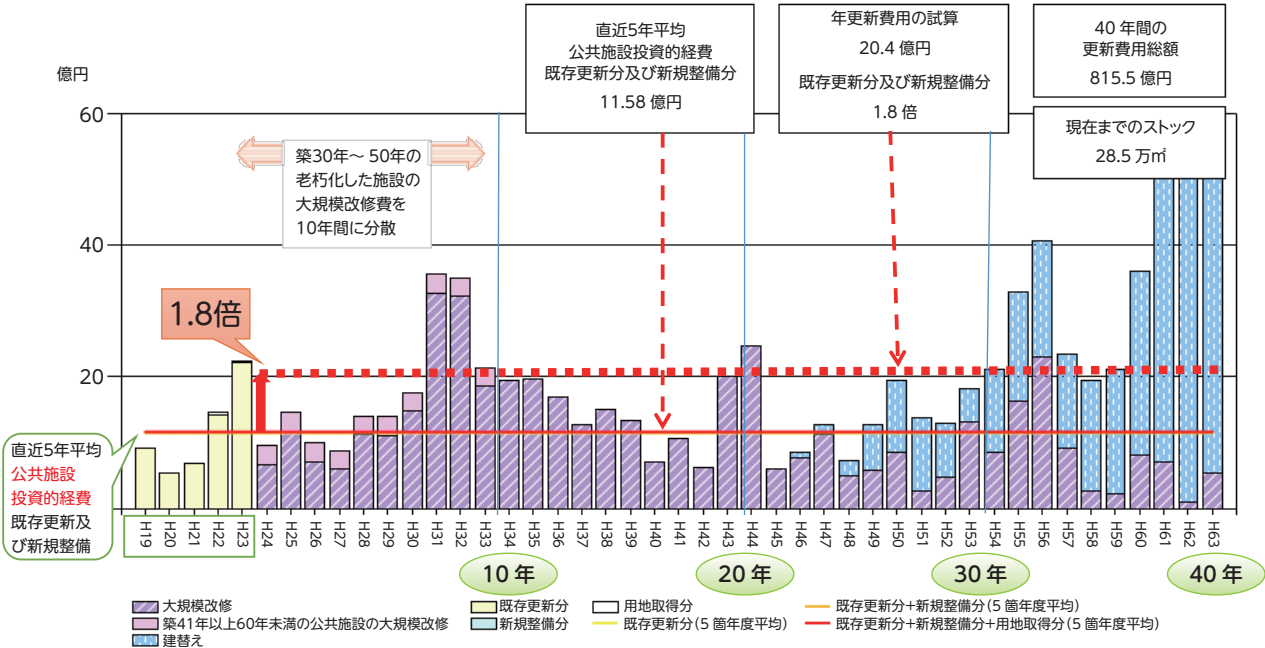
筑西市の将来人口の比較（平成27年と平成47年の予測値）

項目	平成27年	平成47年	比較増減
総人口	104,573人	83,470人	△21,103人
年少人口（0～14歳）	12,759人	7,791人	△4,968人
生産年齢人口（15～64歳）	62,316人	45,498人	△16,818人
老年人口（65歳～）	29,178人	30,181人	1,003人
老年人口割合	27.9%	36.2%	8.3%

筑西市も、全国の多くの自治体と同様に、長期的に人口減少が続くと見込まれます。20年後の平成47年には総人口が83,470人（平成27年対比約△20％）に、総人口のうち約36％が65歳以上の高齢者になると予測され、人口減少・少子化に加え高齢者の割合が高まる超高齢化が進むと見込まれます。

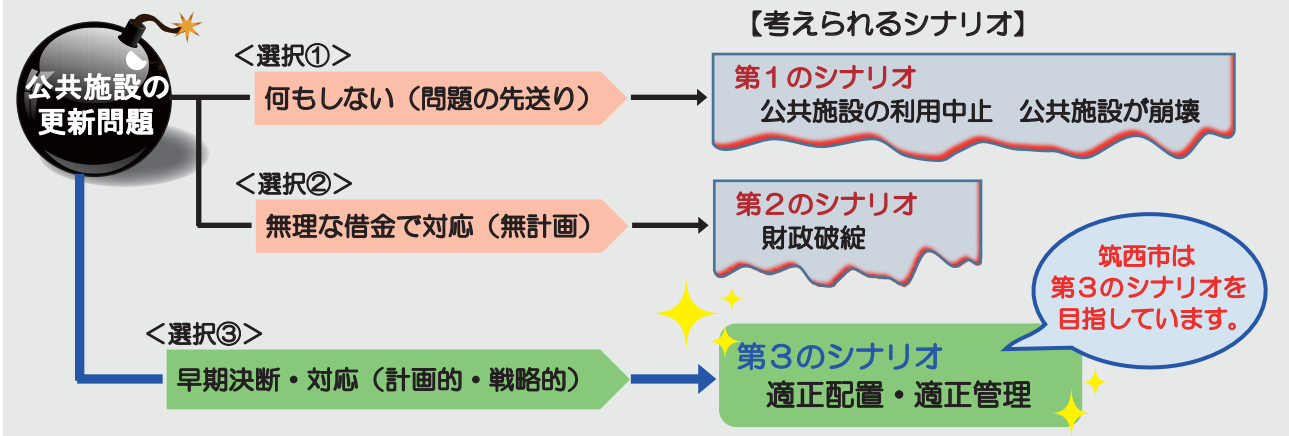
将来の人口減少を見通した場合に、施設数等が適正規模にあるのかを検討する必要があります。

公共施設の更新費用シミュレーション



- ・現在の公共施設を維持するには、今後40年間で815.5億円（1年当たり20.4億円）が必要です。
- ・公共施設にかかる現在の財源（1年当たり11.58億円）をキープできたとしても、約1.8倍かかります。

筑西市が進むべき道は？



将来も必要な公共サービスが受けられるように、
公共施設のあり方を一緒に考えていきましょう！